

自 2020年4月 1日  
至 2021年3月31日

# 公益財団法人 ハーモニィセンター

## 2020年度

## 事業計画書



公益財団法人ハーモニィセンター  
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1  
国立オリンピック記念青少年総合センター内  
電 話 03-3469-7691  
FAX 03-3469-7714

## 目 次

—はしがき—	… 2
1 ポニーキャンプ®、ポニークラブ®、動物広場、牧場等の運営	… 3
1-1 ポニーキャンプ®・野外体験キャンプ	… 3
1-2 HAC（ハーモニアクティブチャレンジ）	… 3
1-3 移動動物教室	… 3
1-4 蓼科ポニー牧場・ポニークラブ®	… 3
1-5 相馬ポニー牧場・ポニークラブ®	… 4
1-6 小貝川三次元プロジェクト	… 4
2 ポニーキャンプ®、ポニークラブ®、動物広場、牧場等の受託管理	… 5
2-1 碑文谷公園こども動物広場	… 6
2-2 水元スポーツセンター公園子ども動物広場	… 7
2-3 相模原麻溝公園ふれあい動物広場	… 7
2-4 万騎が原ちびっこ動物園	… 8
2-5 板橋こども動物園	… 9
2-6 海老名ふれあい動物施設	… 9
2-7 上千葉砂原公園ふれあい動物広場	… 9
3 教育、福祉、医療等の現場におけるポニー乗馬の普及	… 10
4 川べり環境の整備及び活用の推進並びに社会教育に必要な指導者の養成	… 10
5 国際文化交流、国際相互交流活動の推進	… 10
6 社会教育に関する調査研究の推進及び研究成果の普及	… 11
7 新聞、雑誌、図書等の刊行及び電子媒体による情報発信	… 11
8 その他	… 11

## はしがき

2020 年は、約 60 年振りに日本でオリンピックが開催される年として、アスリート達がそれぞれの競技と真摯に向き合う姿勢から得られるであろう感動と、開催国として得られるであろう経済効果、各国からやってくる人々との交流への期待を以て迎えられました。しかし、年明け早々、新型肺炎の感染拡大が始まり、「経済効果への期待」どころか、各種イベントの中止、学校休校等により、店仕舞いを余儀なくされる会社・商店が出、キャンプを実施する団体、動物園、遊園地等多数の人が集まる施設を運営する企業・団体にも暗い影を落とし、オリンピックもその開催自体危ぶまれています。

本計画書は、2 月の時点で平常時を前提にまとめたものであり、新型肺炎の影響は加味されていません。3 月 1 日現在、学校休校やイベント等の自粛要請がいつまで続くのかわかっておらず、あくまでも“仮”のものです。今後、刻々と変わる情勢を随時把握・分析し、動物広場の設置者である自治体担当課と密に連絡を取り合いながら、本計画書（各動物広場においては通常状態の開園とプログラム実施）に近づけてゆきたいところです。

しかしながら、4 月以降、新型肺炎の拡散が収束に向かわず、事態が悪化ようであれば、予算案共々、下方修正します。その一方で、子供たち（の居場所作り）、子育て中のお母さん（もちろん、お父さんも）、ウイルスに対抗するための体力・免疫力に不安のある高齢者のために、何ができるのか…我々に突き付けられた大きな問いに応える取り組みも始めます。

新型肺炎対策はじめ、各事業所で生じる課題の解決のための昨年来の議論の中で、各事業所の職員が常々「子供たちに対してこうしてあげたい！」と思いを強く持ちながら来場者、利用者と向き合っていることを改めて知らされます。こうした職員の熱意を頼りに、3 年先、5 年先を見据えてのプラン作り、まだまだ合格点に達していない団体運営のための規程整備を粛々と進めると共に、団体の存在理由に常に立ち返り、それを随時具現化する 1 年にします。

## 1 ポニーキャンプ®、ポニークラブ®、動物広場、牧場等の運営

### 1-1 ポニーキャンプ®・野外体験キャンプ

今年度は既存プログラム内容の充実を図るだけでなく、新規キャンプを短期休みに実施する。また、6月には新潟県南魚沼市の子供達を対象に蓼科ポニー牧場でキャンプを実施する。7月末には東北支援事業の一環としてNPO法人亘理いちごっここと協力しポニーキャンプ®を実施する。

【年間の代々木事業所主催キャンプ】

	実施回数	延べ泊数	参加数	
			子ども	大人
長期	26回	77泊	900名	0名
短期	18回	31泊	350名	100名
計	44回	108泊	1,250名	100名

### 1-2 HAC (ハーモニアクティブチャレンジ)

今年度は13回実施する。日帰りHACを増やすだけでなく、野外体験などキャンプにつながる内容の宿泊HACも実施する。より幅広いプログラムで参加者を増やしたい。予定。



### 1-3 移動動物教室

前年度と同程度の70回前後の実施を見込んでいる。例年通りの活動に終始せず新たな活動場所を探し、回数を増やしていけるように努める。また、2020年度の東京オリンピック開催に伴う移動動物教室の派遣も予定している。

### 1-4 蓼科ポニー牧場・ポニークラブ®

【事業内容】

- ① ポニー乗馬  
レッスン(5歳以上)・障がい者乗馬レッスン・引馬(1人乗り・2人乗り)
- ② 小動物とのふれあい  
実施なし
- ③ 展示動物飼育管理  
実施なし
- ④ ポニー教室(個人・団体)  
月2回実施(TJPC)
- ⑤ 動物クラブ  
実施なし
- ⑥ 障害児乗馬教室  
馬の学校(白樺YH)
- ⑦ 各種イベントの開催  
牧場フェスティバル・八ヶ岳ホースショー・ポニーライダーズカップ・OB/OG会(年3回)
- ⑧ 移動動物教室  
AKS乗馬会・妙高国立青年の家・お台場NRT・勝浦移動乗馬教室・六日町移動乗馬教室・日野新選組

- ⑨ 幼稚園・保育園・学校等の団体の受け入れ  
自由学園体験旅行
- ⑩ 馬車の運行  
実施なし
- ⑪ その他  
ポニーキャンプ®・スタッフ研修・乗用馬生産育成・預託馬受入れ・ポニーステイ事業（小学校へのポニー貸し出し）・カウンセラー研修・牧場幼稚園事業・育児支援地域居場所づくり事業

【現在の課題+2020年度、力を入れて取り組みたい事】

平日、牧場の有効活用と地域貢献として不登校児の居場所づくりと牧場幼稚園の基礎作りに取り組む。

【今後3～5年かけて実現したいこと】

クラブハウス建替え

### 1-5 相馬ポニー牧場・ポニークラブ®

引続き、南相馬市の要請に応じ地域の除染土仮置き場、倉庫として活用していく。

東京電力への賠償請求については、原子力損害賠償紛争解決センターによる和解仲介（ADR）申し立てを進める。

### 1-6 小貝川三次元プロジェクト

【事業内容】

- ① ポニー乗馬  
レッスン・障害者乗馬レッスン・引馬
- ② 小動物とのふれあい  
4月末まで板橋区から預かっているモルモットを利用した出張業務
- ③ 展示動物飼育管理  
ミニチュアホース・ポニーの放牧による展示（不定期）
- ④ ポニー教室（個人・団体）  
日曜日・祝日に実施（小学生～中学生まで）・WAC（市内・高齢者団体）
- ⑤ 動物クラブ  
実施なし
- ⑥ 障害児者乗馬教室  
団体：ぱお・星の子（茨城LD等発達障害親の会）・ポランの広場・どんぐりの会・カモミール・チーム谷中・チームみかん・葛飾PA遠足
- ⑦ 各種イベントの開催  
フラワーカナル・ネットワークフェア・小貝川Eボート大会・河内町教育委員会主催サマー・スクール・ひとり親家庭・三郷市教育委員会・小貝川リバーサイドポニーキャンプ®（GW・夏季）・小貝川DAYキャンプ・カヤック教室・HAC（Harmony Active Challenge）・ひとり親家庭乗馬会・MTB教室
- ⑧ 移動動物教室  
碑文谷フェスティバル・板橋フェスティバル・住友不動産エスフォルタイベント・港区港南支所イベント・まつりつくば・NYCキッズフェスタ・千代田区青少年委員会自然体験等事業・守谷スポーツフェスティバル・日体幼稚園移動乗馬・常総環境センターふれあいデー・藤代なごみの郷（取手市 特別養護老人ホーム）・ララガーデン・いちごっこ（被災地支援）・本庄まつり
- ⑨ 幼稚園・保育園・学校等の団体の受け入れ  
ラフェリーチェ保育園・藤代小学校・伊奈第二保育所・育英保育園・谷和原第2保育所・取



手第一中学校・藤代南中学校・藤代小学校町探検・ボーイスカウト牛久

⑩ **カウンセラー育成・カウンセラー主宰企画**

カウンセラー研修・流通経済大学カウンセラー育成・ジュニアカウンセラー受け入れ・ハモフェス会場提供

⑪ **NPO小貝川プロジェクト 21 との協働**

フラワーカナル種まき(ポピー・コスモス)・5月フラワーカナルフェスティバルブース参加・10月ウェルネスフェスティバルブース参加・河川敷整備(草刈り・ゴミ拾い)・NPO事務局兼務

⑫ **その他**

ライフジャケットやスローロープ(水辺の安全を確保する資材)などの貸出業務・生き生きクラブ研修室貸出業務・青葉台中初等部飼育馬管理・流通経済大学連携プロジェクト・日独交流・ポニーライダーズカップへの出場・勝浦キャンプへの人員派遣

**【現在の課題+2020年度、力を入れて取り組みたい事】**

流通経済大学(龍ヶ崎市)をはじめとした地域団体との連携拡充・在籍ポニーの層の向上  
5歳馬1頭、6歳馬1頭、7歳の未調教新馬の調教・新馬購入・堆肥置き場の新規開拓・カウンセラーや職員の引馬や馬の扱いの入門講習・年齢を制限しないボランティア受け入れ(居場所提供)。

**【今後3~5年かけて実現したいこと】**

馬場・馬房など施設の補修

## 2 ポニーキャンプ®、ポニークラブ®、動物広場、牧場等の受託管理

動物広場(ふれあい動物広場、動物園)の運営は、全て各自治体(万騎が原、海老名については公園を管理する指定管理者)とハーモニセンターとの間で交わす契約書・仕様書(委託)、協定書(指定管理者)に基づいて行われる。

碑文谷、相模原に加え、改修工事(本園)が終了して6月に再開する板橋が指定管理者としての運営を始める。

全事業所で場内の整理・整頓、丁寧な清掃、丁寧な対応により、これまで以上に来園者にとって居心地よく、「また行きたい」と言ってもらえる「安全・安心」の広場作りを進める。

**【施設概要一覧】**

	所管課・契約先	面積等	飼育動物	常勤職員数
碑文谷	目黒区都市整備部道路公園課	3,310 m <sup>2</sup>	ポニー6頭・ウサギ・モルモット・犬・亀	6名
水元	葛飾区教育委員会地域教育課	3,263 m <sup>2</sup>	ポニー12頭	10名
相模原	相模原市環境経済局共生部公園課	15,000 m <sup>2</sup>	ポニー16頭・ヤギ・ヒツジ・モルモット・ウシ・リスザル・シマリス・ミーアキャット・ハイラックス・シカ・ウサギ・鳥類・クジャク・チャボ等	15名
万騎が原	公益財団法人横浜市緑の協会	2,000 m <sup>2</sup>	モルモット・日本鶏・ハツカネズミ	3
板橋	板橋区土木部みどり公園課	本園 1,907 m <sup>2</sup> 分園 583 m <sup>2</sup>	ポニー4頭・ウサギ・モルモット・ヤギ・ヒツジ・カメ・鳥類・リス等	13名

海老名	相鉄企業株式会社	2,014 m <sup>2</sup>	ポニー2頭 モルモット、ウサギ、チャボ	3名
上千葉	葛飾区都市整備部公園課	2,100 m <sup>2</sup>	ポニー5頭・ヤギ・ミニブタ・ウサギ・シマリス・リスザル等	6名

## 【各施設事業内容等】

### 2-1 碑文谷公園こども動物広場（ポニー園）

#### 【事業内容】

- ① ポニー引き馬乗馬
- ② 小動物とのふれあい
- ③ ポニー教室  
個人向け：4～6月、7～9月、10～12月、1～3月の年4期  
団体向け：障害児グループ・幼稚園・保育園・学校・一般グループ
- ④ 動物クラブ
- ⑤ 各種イベントの開催（ポニーまつり、ミニイベント、親子乗馬会など）
- ⑥ その他（職業体験、大学生研修受け入れなど）



#### 【現在の課題+2020年度、力を入れて取り組みたい事】

- ・ふれあいコーナーの床面補修（塗り替え）  
施設の老朽化が進んでいる。利用者に気持ちよく過ごしていただくため、施設維持管理の一環として実施する。
- ・サイドウォーカー講習会の実施  
子ども達が馬に乗ることに対する理解を深めてもらう一助として、先生方や保護者等を対象に、講習会を実施する。

#### 【今後3～5年かけて実現したいこと】

- ・職員の育成  
職員の若返りが進んでいる中、日常プログラムの質の向上、安全の確保を一層高められるよう、職員育成を目指す。社会教育団体職員として、地域住民や参加者の居場所作りをできるよう、意識向上を目指す。

### 2-2 水元スポーツセンター公園子ども動物広場（ポニースクールかつしか）

#### 【事業内容】

- ① ポニー乗馬（引馬）  
馬場内での無料引馬（1人1回限り）。3歳以上小学校6年生までが対象。
- ② 小動物とのふれあい  
実施なし
- ③ 展示動物飼育管理  
実施なし
- ④ ポニー教室  
個人：葛飾区在住・在学の小学生～中学生を対象に実施  
団体：中学生以下の団体（区外の団体可）
- ⑤ 動物クラブ→実施なし
- ⑥ 障害児乗馬教室



パートナーアニマル個人教室：葛飾区在住・在学の小学生から20歳までを対象に実施  
パートナーアニマル団体教室：中学生以下の団体（区外の団体可）

- ⑦ 各種イベントの開催  
新規利用者の獲得と葛飾区民が参加できる特別イベントを年に2回（6月と2月の予定）開催。  
教室会員を対象に、「こどもまつり（8月）」や「クリスマス乗馬発表会（12月）」、「マラソン大会（1月）」等を開催
- ⑧ 移動動物教室  
葛飾区からの依頼で、4月に「葛飾区こどもまつり」、10月に「かつしかスポーツフェスティバル」に参加、引馬と軽乗見本演技披露を実施予定
- ⑨ 幼稚園・保育園・学校等の団体の受け入れ  
④と⑥の「団体対応」にて対応。
- ⑩ 馬車の運行  
実施なし。
- ⑪ その他  
介護予防乗馬：葛飾区高齢者支援課からの依頼で、年間3回（前期・中期・後期）の介護予防乗馬を実施

【現在の課題+2020年度、力を入れて取り組みたい事】

- ・馬の育成（若年馬の調教）→法人内における馬の年齢層を若年化すべく、馬の供給基地の一端を担う。
- ・職員の育成→事業所内の業務だけではなく、将来法人を背負うことができるような幹部候補生の育成場所としての役割を担う
- ・施設内のスリム化（不要物の整理）

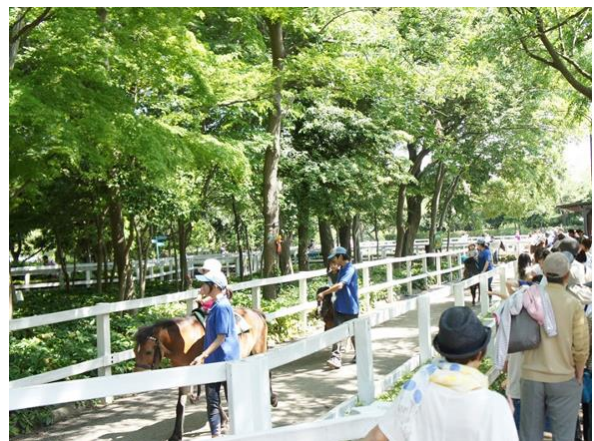
【今後3～5年かけて実現したいこと】

- ・職員や馬の育成をする場としての役割を積極的に担う
- ・「軽乗」ブランドの確立→対外的に第一人者としての地位を確立する

## 2-3 相模原麻溝公園ふれあい動物広場

【事業内容】

- ① ポニー乗馬（親子二人乗り乗馬あり）
- ② 小動物とのふれあい
- ③ 展示動物飼育管理
- ④ 牛の搾乳体験
- ⑤ ポニー教室（個人）
- ⑥ 動物クラブ
- ⑦ 子どもボランティア育成プログラム
- ⑧ 障がい児乗馬教室
- ⑨ 各種イベントの開催
- ⑩ 移動動物教室
- ⑪ 幼稚園・保育園・学校等の団体の受け入れ
- ⑫ さがみはらっこポニーキャンプ®
- ⑬ 動物のエサやり体験
- ⑭ 健康作り乗馬教室
- ⑮ その他



【現在の課題+2020年度、力を入れて取り組みたい事】

- ・近年続く異常気象の影響により、利用者数が減少傾向にある。利用者増につながる施策を模索



し、実践して行きたい

- ・飼育動物の老齢化がすすんでいる。飼育動物の補充と入換えをする。
- ・ベンチ等施設建築物の経年劣化がすすんでいる。計画的に修繕を進め、利用者の安全確保に務める。
- ・樹木の成長により場内が落ち葉や枯れ枝で著しく汚れる。高木剪定をし、環境美化に務める。

#### 【今後3～5年かけて実現したいこと】

移設後28年を経て、飼育動物の老齢化、施設老朽化が進んできている。利用者にとって居心地の良い憩いの場にするべく施設の修繕と動物の補充・入換えを進めていく。家族はもちろん、子供から大人まで幅広い年層の利用者が楽しみ、愛される施設づくりを目指す。

## 2-4 万騎が原ちびっこ動物園（野毛山動物園分園）

### 【事業内容】

- ① 小動物とのふれあい
- ② 展示動物飼育管理
- ③ 各種イベントの開催（冬のミニイベント：クリスマスカード作り、モルモット探しなど）
- ④ 野外活動センター飼育体験キャンプ受け入れ
- ⑤ その他（ポニー体験乗馬プログラム）



### 【現在の課題+2020年度、力を入れて取り組みたい事】

- ・非常勤職員の育成
- ・作業の効率化
- ・野毛山動物園に準じて、動物福祉に基づくふれあいの実施
- ・高温によるふれあい中止時の代替案の充実
- ・防犯対策の実施

#### 【今後3～5年かけて実現したいこと】

- ・大人も子供も読める広場オリジナル冊子などを作成し、来園者に向けて、広場の魅力や楽しさ、さらに大切なこと（人や動物との関りを通じて、責任感、優しさや思いやりなどを育み、将来に役立つ力を養う）をより積極的に伝える。
- ・掲示物の充実（動物紹介など）
- ・動物種の追加（ニワトリの種類追加）
- ・動物クラブを作る
- ・自主事業として、グッズやエサを販売
- ・ハト舎解体工事によるスペースの活用
- ・繁殖の実施



## 2-5 板橋こども動物園（本園・分園）

### 【事業内容】

- ① ヤギ・ヒツジの放し飼い、ふれあい
- ② ヤギの屋根のぼり、橋渡り
- ③ モルモットのふれあい
- ④ ポニー乗馬  
引馬、親子乗馬、高齢者乗馬、障害者乗馬
- ⑤ ヤギ・ヒツジのえさやり
- ⑥ ポニーの馬車

- ⑦ こども動物クラブ
- ⑧ ポニー教室
- ⑨ ポニーキャンプ®
- ⑩ 出張動物園
- ⑪ 出張ふれあい
- ⑫ 施設や企業との協働企画
- ⑬ 軽食やお土産の販売
- ⑭ 公園清掃、樹木管理
- ⑮ イベント開催

親子まつり、本園オープンイベント、冬のミニイベント、ヒツジの毛刈り

※その他については、協定前なので区役所と相談し、検討中

#### 【現在の課題+2020年度、力を入れて取り組みたい事】

##### 課題

- ・動物クラブの参加数増を目指し、中身の検討と改善。
- ・本園オープン後の利用者を定着させることと、新規利用者の呼び込み。

##### 力を入れて取り組みたい事

- ・利用者満足度向上のため、お土産コーナーや軽食販売などの新規事業の立ち上げ。
- ・周辺地域の企業や施設との協働。
- ・地域活性化を目的とした地域住民、周辺施設ボランティアの受け入れ。
- ・社会教育団体職員としての意識改革。
- ・オープンに向けての準備として、備品整理、動物の馴致、職員研修。
- ・施設内の整理、整頓。
- ・イベント運営のマニュアルを作成し、業務の共通化を図る。

#### 【今後3～5年かけて実現したいこと】

- ・周辺地域の企業や施設との繋がりを増やす。
- ・広場との繋がりでだけでなく、ハーモニセンターの活動にも参加、協力してくれる人を増やす。

## 2-6 海老名ふれあい動物施設

### 【事業内容】

- ① ポニー乗馬
- ② 小動物とのふれあい（ウサギ、モルモット、チャボ）
- ③ ポニー教室（個人：長期休み期間に実施）
- ④ 各種イベントの開催（季節ごとに運動公園内のイベントに参加、及びポニーイベントの開催）
- ⑤ 移動動物教室（市内イベントへの派遣、自治会・幼稚園・保育園・小学校への派遣）
- ⑥ 幼稚園・保育園・学校等の団体の受け入れ
- ⑦ 馬車の運行



#### 【現在の課題+2020年度、力を入れて取り組みたい事】

- ・事業の適正化と収支の改善
- ・施設開設9年目を迎え、施設及び備品の痛みが目立ってきているため、整理・清掃・修繕に努め、安全で快適な施設を目指す。
- ・移動動物教室を市内に広めていくために高齢者施設への派遣を行う。

## 2-7 上千葉砂原公園ふれあい動物広場

### 【事業内容】

- ① ポニー乗馬（引き馬のみ）
- ② 小動物とのふれあい
- ③ 展示動物飼育管理
- ④ ポニー教室（個人）年3回（1回につき5日間）
- ⑤ 動物クラブ 6月～3月
- ⑥ ミニイベントの開催（不定期）
- ⑦ 出張動物教室（盲学校や高齢者施設などに出張）
- ⑧ 幼稚園・保育園・学校等の団体の受け入れ

### 【現在の課題+2020年度、力を入れて取り組みたい事】

- ・特命随契業者として日頃から充実した運営を心がける。
- ・動物クラブの活動人数を増やす。
- ・ポニー教室についても常に定員に達するようにする。
- ・老朽化した施設の修繕を進める。

### 【今後3～5年かけて実現したいこと】

2020年度予算がおりたことから、馬房・倉庫の設計など建替えの為の準備が始まるので、葛飾区役所と相談しながら進めていくと共に、他施設の改修にも取り組む準備を行なう。豚コレラ等動物の疾病や、動物の老齢化に関して入替えなども含め対応を協議していく。

## 3 教育、福祉、医療等の現場におけるポニー乗馬の普及

### 3-1 三鷹市立第一小学校における馬を軸にした体験活動

市立小学校で授業時間中に丸1日かけて行われる事業に馬と指導者を派遣する。年4回実施され、今年度は4年計画の最終年となる。

### 3-2 勝浦市・南魚沼市・LITALICO 移動乗馬教室

昨年度に続き、千葉県勝浦市・新潟県南魚沼市の小学校・保育所・養護学校・老人ホーム等を6頭のポニーと15名のスタッフ・カウンセラーで訪問し、乗馬体験やふれあい体験を実施する。また、今年度より株式会社LITALICOと協力の上、障害児を対象とした移動乗馬教室を実施する。本事業は全国乗馬倶楽部振興協会の助成金を受け実施する。

勝浦市移動乗馬教室	6月26日～7月1日
南魚沼市移動乗馬教室	9月29日～10月8日
LITALICO 移動乗馬教室	日程調整中

### 3-3 その他の体験活動

都内小学校で1～4校時を利用し、PTAとおやじの会が主体となって、授業時間内で2・4・6年生に対し動物とふれあう体験活動を担当する。

## 4 川べり環境の整備及び活用の推進並びに社会教育に必要な指導者の養成

河川協力団体に認定された際に策定した5年間の活動実施計画に基づいて小貝川ポニー牧場を中心として、河川に賑わいを取り戻し、環境点検・保全・清掃・事故防止・災害時に貢献する。

### 【事業内容】

- ① 騎馬による河川パトロール活動（年数回、危険箇所等のチェック、ごみ拾い）
- ② 移動乗馬教室開設（河川敷、各種教育福祉施設広場など）
- ③ 河川敷整備（草刈り・ゴミ拾い）
- ④ NPO 小貝川プロジェクト 21 と協力し、ウェルネスフェスティバルにて E ボート大会の企画・運営

## 5 国際文化交流、国際相互交流活動の推進

### 5-1 モンゴル大草原乗馬交流

昨年実施したモンゴル文化教育大学との乗馬交流を基に、更なるプログラムの充実を目指し調査研究を継続する。

### 5-2 日独青少年相互交流計画

日本とドイツの青少年がお互いの国を行き来し、異文化交流を通して学びあい、国際的視野を広げる機会とする。隔年で派遣と受け入れを交互に行っており、今年度はドイツから青少年の受け入れを実施する。職員だけでなく、カウンセラーや会員にも参加を呼びかけ、来期以降の事業参加者を繋げていく。

本事業開始時からのパートナーである大崎市鳴子国際交流協会と合同で受け入れする。同じく、今後団体・個人問わず、本事業に協力してもらえるパートナーを探し、新しい事業展開を思案していく。

また、受け入れ期間中に30周年のレセプションパーティーを実施し、これまでの交流を振り返るとともに、今後の事業についての展望発表や事業への協力者、アイデアを募集し、今後の事業の発展的継続につなげていく。



日程 10月10日～26日  
人数 15人程度  
対象 16歳～概ね30歳の青少年

## 6 社会教育に関する調査研究の推進及び研究成果の普及

全国乗馬倶楽部振興協会、JRA、ゆるやかネット、その他のグループが乗馬の効用、馬の活用状況に関連して実施する研究集会、調査、交流会等に積極的に参加・協力し、当会が蓄積してきたノウハウ、成果等を積極的に発信すると共に、参加職員の研修、情報収集にも努める。

## 7 新聞、雑誌、図書等の刊行及び電子媒体による情報発信

### 7-1 機関紙「THE HARMONY CENTER」の発行

ハーモニセンターに連なる多彩な会員・関係者に取材することにより、キャンプ中心ではなく、大人も楽しめる読み物として質の高い情報発信に努める。

- ① 発行ペース：月刊
- ② 掲載内容：ハーモニセンターの行う「社会教育活動」の紹介
- ③ 発行部数：各号2,000部
- ④ 設置場所：公的機関（役所・公立図書館）および各種関係団体

### 7-2 WEBによる広報活動

HP・Facebook・Instagram等を活用し広報活動を実施していく。

### 7-3 パンフレット・チラシの活用

インターネット環境のみに頼ることなく、今年度も紙媒体を充実させ、「全職員広報マン」の意識を持って牧場、動物広場への利用者誘導に努める。

## 8 その他

### 8-1 人材育成

#### 8-1-1 職員

人事・採用・研修委員会が、年間通じた階層・年齢層・テーマに合わせた研修プランを作成し、実施する。外部講師としてカウンセラーOBOGを活用するなどし、更に内容の充実を図る。また、社外のシンポジウム、セミナー、研修会に積極的に職員を出席・参加させる。

#### 8-1-2 キャンプカウンセラー研修

ポニーキャンプ®を中心とした、ハーモニセンターが主催する全ての事業に参加する青少年を対象とし、活動を通じてハーモニセンターの活動趣旨を理解・体感・賛同し、技術を体得する事で自信を持って積極的に活動を推進する一員となることを目的とする。

##### ① 宿泊研修会

	研修会名称	実施期間	会場	参加数
1	牧場研修	6月5日~7日	蓼科ポニー牧場	15名
2	登山研修会	6月19日~21日	八ヶ岳	5名
3	牧場研修	6月19日~21日	蓼科ポニー牧場	20名
4	牧場研修	11月27日~11月29日	蓼科ポニー牧場	20名
5	スキー研修	12月5日~6日	富士見パノラマ	10名
6	牧場研修	1月29日~2月1日	蓼科ポニー牧場	15名
7	スキー研修	1月31日~2月3日	ムイカスノーリゾート	10名
8	牧場研修	2月16日~19日	蓼科ポニー牧場	20名
	計 8回	延べ17泊		115名

\* 8はハーモニカレッジとの合同研修会。

## ② 日帰り研修会

各種技術（ギター、レクリエーション、プログラム作り、ポニーの扱い、野外炊事技能等の自然体験活動、安全管理等）の習得及びカウンセラー同士の相互理解を目的とする。（会場は国立青少年センター、動物広場など）

## 8-2 他団体との連携等

### 8-2-1 役員等派遣

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会、NPO法人川に学ぶ体験活動協議会、NPO法人自然体験活動推進協議会、NPO法人日本Gボール協会、一般財団法人日本ユースホステル協会に役員・委員を派遣する。

また、馬の調教や乗馬指導に関する指導を依頼される団体、機関に指導者を派遣する。

### 8-2-2 運営協力

「馬のいる領域」研究集会、日本キャンプ協会、大都市圏動物園事務主管者会議、河川流域交流会、馬を用いたセラピー・療育研究プロジェクト、CONEフォーラム・RACフォーラム、日本ユースホステル協会（馬の楽校）の運営に協力する。

### 8-2-3 馬預託

TCCを初めとして依頼のあった、馬・ポニーを預り、管理・調教を行う。

## 8-3 団体運営体制整備

引き続き各種規程の見直し・整備を進めると共に、職員の待遇改善を図り、将来への不安を感じることなく、夢を持って日々の業務に取り掛かってもらえる環境を作る。

### 8-3-1 委員会等

#### ① 人事・評価・研修委員会

現在の採用委員会を拡大し、評価制度の運用、研修の企画実施まで手がける。  
馬の指導における内部審査制度を整備する。

#### ② 「これからのハーモニセンターを考えるプロジェクト」チーム

全職員を巻き込んで今後のハーモニセンターのビジョンを考える委員会。施設長や施設代表職員のアイデアも入れながら一体感を大事にプロジェクトを進めていく。

#### ③ 法人のコンプライアンス制定・個人情報保護・安全管理

毎月実施する施設長会議開催時に、法人のコンプライアンス策定、個人情報保護、安全管理について情報共有と日々の課題解決に努める。

### 8-3-2 職員の育児支援の研究

子育てをしながら業務に就いている女性職員、近い将来子育てに入る職員は、現在全職員の1割近い7名（休暇中の職員・予備軍を含む。）に上り、団体・事業の性格上、こうした職員が安心して業務を続けるための仕組みづくりが急務となっている。今年度、職員の育児支援の研究を実施する。また必要に応じ女性会議を実施する。

### 8-3-3 職員のメンタルヘルス対策

主に管理職を対象としたハラスメント講習会を継続し、世代の異なる職員間のコミュニケーションを促進することで、職場環境の改善を目指す。また、職員個人のメンタルチェックを行うため、アンケート制度を導入するなど、新しいシステムを構築し、職員のメンタルケアを行う。